



驚きに満ちた子供の成長を見逃さないで。

杉浦 太陽さん

TAIYO SUGIURA

俳優・タレント。1981年生まれ。2001年、『ウルトラマンコスモス』に主演し注目を集める。妻・辻希美さんとの間に4児がいる。

妻

が妊娠しても、パパになる実感はすぐにはなかなか湧かないものですね。だからこそ積極的に行動して、パパになる心構えを持つとすることが大切なんじゃないかなと思います。僕が一番「パパになるんだ」と実感できたのは、健診で赤ちゃんの心音を聞いた時。エコー画像では豆粒のようでよくわからなかった赤ちゃんの存在が、はっきりと鼓動というもので確認できて「ここに命が息づいているんだ」という喜びが一瞬で芽生えました。

ただ当時はまだ若かったこともあって、うれしさはもちろんあったけれど、今後の生活のことなど不安だらけでもありました。周りの友人は遊んだりして楽しそうなのに、自分にはもうその自由がない。でも、どうしたって隣の芝生は青いんです。だからこそ自分の現状に前向きになることってとても重要なんだと思います。

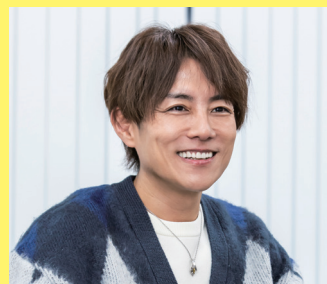
先輩パパとして言わせてもらえば、自由な時間と引き換えにしても、赤ちゃんを育てることって、他には代えられない喜びがあります。特に0～1歳になるころの赤ちゃんの成長はものすごく早く、毎日が新鮮な驚きでいっぱい。これを見逃すなんてもったいないです。僕はおむつ替えが一番好きで、「今日のうんちは健康!」とか「うんちがゆるいから、どうしたらいいかな」と、うんちを通した

コミュニケーションを楽しみました。

ママは、とにかく体への負担が大きい。パパは、「代わってあげられない分、せめて何かできることをしよう」という思いになれたら、すべきことは必ずとわかってくるんだと思います。ただ1つ注意点は、何かした後で「やった感」をあまり出さないこと(笑)。

子育てにちゃんと関われば、パパにとって家庭が大切な居場所になると思うので、先のことも見越して、パパも子育てを楽しんでほしいです。

パパへのアドバイス



率先して家事や育児をしていくと、パパという役割が自分になじんできます。自分自身のためにも「パパ」を楽しんで!

下手でもOK!
思いやりある行動が大切。

近藤 千尋さん

CHIHIRO KONDO



モデル・タレント。1989年生まれ。お笑い芸人・ジャングルポケットの太田博久さんとの間に2人の娘を持つ。

娘

を出産して実家に行ったときのこと。娘のそばにいた私の父が「おーい、おしっこしちゃってるぞ」と戸惑いながら私を呼ぶので、「おむつの替え方わからないんだ…」と思ったことを覚えています。父の時代とは異なり、今はパパも一緒に子育てをすることが当たり前になってきてよかったなと思いますし、それができる男性はやっぱりステキだなと思います。

その点、私の夫は、つわりがひどくて何も食べられなかったときにはゼリー飲料をいくつも買ってきて「どれか食べられる？」と心配してくれたり、まったくできなかった料理を覚えてくれたり、もちろんおむつ替えだってしてくれました。

ママがテキパキしていて何でもできると、「自分の出番はないな」と思うパパもいるかもしれませんが、やるべき家事って何かしらあるものです。ティッシュの箱が空になっていたら交換したり、ごみ出しの日ならごみ箱からごみを集めたり。外出時だって、赤ちゃんをパパに預けて、1人でお手洗いにいけることがどれだけうれしいことか。ママが「いいよ、大丈夫」と言っていたとしても、その言葉を真に受けてはいけません。私はむしろ「大丈夫」と口にするママほど、いっぱいいっぱいになっていることが多いかもしれないと思っています。

慣れるまでは、おむつを替えるのにも時間がかかって、赤ちゃんが泣き出すかもしれません。夫も、おむつ替えのときにパソコンにおしっこをかけられちゃったことがありました（笑）。でも徐々に上手になるので、失敗しても諦めないで。女性は命がけで出産するのですから、産後はパパも一緒に子育てをしてほしいなと思います。そしてお互いに「やって当たり前」ではなく、うれしかったことには、ちゃんと「ありがとう」と伝えたいですね。夫婦は互いの鏡。相手を思い合って行動できれば、夫婦仲も良くなりますし、夫婦の関係が良ければ、赤ちゃんも幸せになると思います。

パパへのアドバイス



ママだって子育ては初心者。パパも「できない」と思わずにとにかく動いてみて、自分の得意なところを見つけましょう！